雑 報

553.311 : 550.85(521.71) : 622.341

三重縣名張鉦山調査報告

本鉦山は三重県名賀郡名張町にあつて、近畿日本鉄道名張駅の東方約7kmに当る。

地質は片麻岩・片麻状花崗閃緑岩・斑禰岩・花崗岩等およびこれらを覆う上部第三系?の含亜炭粘土砂層・第四系の礫層・段丘堆積物等からなる。片麻岩・片麻状花崗閃緑岩・斑禰岩等はベグマタイトまたはアブライト質岩脈により貫ぬかれる。これらの岩脈が網脈状をなし、斑禰岩を貫ぬく所は風化分解作用を受けることが著しい。

筆者は含チタン鉦床を次ぎの4型に分けている。

1. 風化分解作用を受けた斑禰岩より分離剥脱した重鉦物(主としてチタン鉄鉦よりなる)が残留し、雨水等により洗出され、濃集してできたもの。
2. チタン鉄鉦の濃集部にとむ片麻状花崗閃緑岩。
3. 第四系礫層中にチタン鉄鉦が濃集したもの。
4. 斑禰岩が単に風化分解作用を受けたもの。この場

合の含チタン土砂をサバ土と呼んでいる。

鉦石はチタン鉄鉦が主で、磁鉄鉦・モナズ石・ジルコン石・金紅石・榍石等を少量伴なう。

チタン鉄鉦を含む重砂は原鉦土砂中に3~10% (重量比)を含み、目下稼行中の377.8m高地の南中腹のものは7.9%程度である。

現在生産されているテーブル精鉦の精度によりA、Bの2種のものがある。本所の分析結果によれば次の通りである。

	TiO ₂ %	Fe %	SiO ₂ %	P %	S %
A	48.30	33.64	2.88	0.00	0.03
B	46.50	34.59	5.94	0.00	0.03

2・3・4の各型の鉦石は低品位であるが、選鉦が比較的簡単であるから、今後稼行上考慮すべきものと思う。

(調査：大塚寅雄 抄録：宮本)

月報 5巻6号 正誤

林 昇一郎：高知県吉野鉦山蛭石鉦床調査概報

頁・行	誤	正
39 英文上6	dimention	dimension
39 左下6	分の季地形	分の1地形

月報 5巻7号 正誤

林 昇一郎：高知県八代鉦山含マンガン鉄鉦・銅鉦床調査報告

頁	誤		正	
60 表	試料番号	Cu	試料番号	Cu
	No. 1	—	No. 1	—
	2	17.17	2	17.27